

# みなりハ

医療法人芙蓉会 南草津病院  
地域リハビリテーション情報誌

第33号  
発行月 2020年4月

いよいよ温かい春の日差しを感じる、心地よい季節になってきましたね。  
さて、新年度を迎えるにあたり、地域リハビリテーション課にも出会いと別れがありました。  
まず、通所リハビリの管理者であった守屋OTが院内に異動し、新管理者は小林PTとなります。  
他に2名ずつ異動のスタッフが加わります。  
今年度も更なる努力をし、精一杯の対応をさせていただきます。  
引き続き、新体制の地域リハビリテーション課をよろしくお願い致します！



## 通所リハビリテーション 新管理者の小林桜(PT)です！

### 当事業所が取り組んでいる、インフルエンザや新型コロナウイルス等の 感染症拡大防止策をご紹介します！！

1年前から通所リハビリに携わせて頂きましたが、この4月から管理者をさせて頂くことになりました。  
これからもより一層、利用者様のニーズや目標達成に向けて、ケアマネジャー様をはじめとする多くの方々と協力して取り組んでいきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

現在、当事業所では、施設内での感染症拡大を防止するための取り組みとして、利用者様のご理解とご協力のもと、体調チェック、検温、手指消毒、マスク着用でのご利用をお願いしております。

感染症を予防しながら、安心して運動機能の維持・向上に取り組み、日常生活を楽しく、健康に過ごしていきましょう。



<その1>  
送迎車への乗車前に検温  
(非接触型体温計の導入)

※スタッフも朝一番に  
検温・体調チェックを済ましてから就業しています！



<その2>  
リハビリ前と帰る前に、アルコールでの  
手指消毒を行っています！



間瀬戸弘信  
PT

【ませど ひろのぶ】です。  
早く名前を覚えてもらえるよう頑張ります！  
趣味：  
サッカー スノーボード



池澤里沙  
PT

【いけざわ りさ】です。  
皆さんに会えるのを楽しみにしています！  
特技：  
どこでもすぐ眠れること



山下茜  
PT

【やました あかね】です。  
不慣れな点もありますが  
宜しくお願いします！  
趣味：  
野球観戦 旅行



守屋篤志  
OT



山村香湖  
PT



御子神ちひろ  
PT

利用者の皆様  
今まで大変お世話になりました！  
院内でも気軽に  
声を掛けて下さいね！！

新年度からのメンバー

院内に異動するメンバー

## 地域リハビリテーション課より関係者各位へお知らせ

## ～自己紹介～



2月から地域リハビリ課に入りました池澤里沙です。今まで病院でリハビリをしていたので、通所・訪問リハビリは初めての経験です。最近やっと車の運転が慣れてきました。



この度、地域リハビリ課に入りました間瀬戸(ませど)弘信です。前任の業務を引き継ぎ、通所・訪問リハビリを担当させていただきます。珍しい苗字で覚えにくいと思いますが、宜しくお願いします。



この度、地域リハビリ課に配属となりました理学療法士の山下茜です。野球観戦や旅行が趣味です。精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

新年度を迎え、ようやく春らしい気候となりました。学生は進級や進学、新社会人はフレッシュマンとして新たな環境に身を置く中、当地域リハビリテーション課にも新たな顔ぶれが揃いましたので自己紹介もさせていただきます。新体制で力を合わせて利用者様にとってより良いリハビリを提供させていただきますので、今年度も宜しくお願い致します。

み  
な  
り  
ハ

地域リハビリテーション情報誌

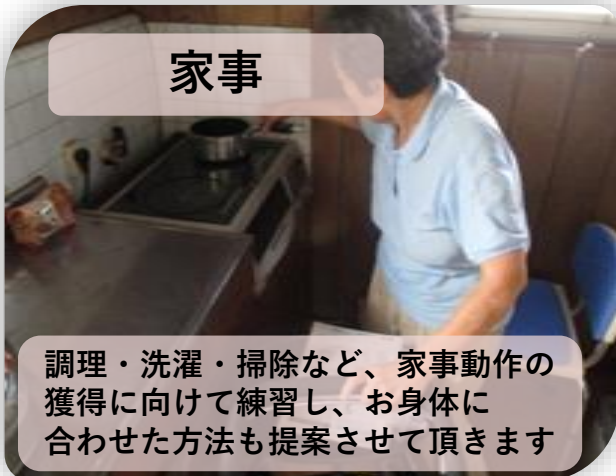
2020年4月

第33号

## 地域リハビリテーション課(訪問リハビリ・通所リハビリ)のご紹介

## 訪問リハビリでこんなことができます!

## 家事



調理・洗濯・掃除など、家事動作の獲得に向けて練習し、お身体に合わせた方法も提案させていただきます



当課は作業療法士も在籍しておりますので、一度、ご相談下さい!

通所リハビリでは、新型コロナウイルス対策の一環として上記の取り組みを行っております



乗車前の検温



エタノール手指消毒

## 通所リハビリ管理者変更のお知らせ

守屋  
～R2.3小林  
R2.4～

医療法人芙蓉会 南草津病院 地域リハビリテーション課  
〒525-0059 滋賀県草津市野路五丁目2番39号  
TEL: 077-562-2239 FAX: 077-562-2253



# み な り ハ 通 信

## 「楽に歩行器を使えていますか？」

今回は、膝の手術後、当院の外来リハビリから訪問リハビリへ移行された、Yさんを紹介させていただきます。訪問開始時のご希望は『**歩いて外のトイレに行けるようになりたい**。できれば買い物にも歩いて行けるようになりたい』でした。介入時のYさんは、歩行器があれば歩ける能力がありました。以前からお持ちの**歩行器は『使いにくい』**との発言があり、歩行器を使用せずにご家族様が車いすを押して移動されていました。



Yさんの  
歩行器



住環境評価では、自宅内は段差が多く、トイレまで21m、また駐車場まで28mの坂道があります。結果、**歩行器が「自宅の環境」に適していない**ことが判明したため**歩行器の見直し**を行いました。

①歩行器の重さは適切か？ ②グリップ（握るところ）の位置はYさんに合っているか？という

観点で、私がYさんにご提案した歩行器が以下の物です。



ご提案した  
歩行器



歩行器の重さが軽くなり、グリップをサイド握りにしたことで歩行速度が向上し方向転換もスムーズになりました。Yさんから『**軽くて使いやすい**』との発言がみられ、訪問リハビリ中ではトイレや駐車場までの歩行が可能となりました。

「今までできていた楽しみ」を「これからも続けられる楽しみ」へ。私たち、地域リハビリテーション課が全力でサポートさせていただきます！みなさんも何か困りごとがあれば、スタッフに気軽にご相談くださいね。